

附屬

政治問題ニ關スル重要會議文書表

一九三四年四月十七日佛政府對英回答—佛政府青本	Négociations relatives à la réduction et à la limitation des armements
同 年四月十六日獨政府聲明—英政府公表白紙	Miscellaneous no. 5 Further Memorandum on disarmament
同 年四月九日ヨリ五月二十三日ニ至ル議長報告	Conf. D./Bureau/59
同 年六月八日一般委員會決議	Conf. D./Bureau/64.
條約履行保障問題ニ關スル事務局覺書	Conf. D./C.G./C.G.E./1
同問題ニ關スル「ブルカン」「ノート」	Conf. D./C.G./C.G.E./4(1)
安全問題ニ關スル覺書	Conf. D./C.G./C.S.S./2
地方的相互援助協定ニ關スル「ポリチス」報告	Conf. D./C.G./C.S.S./3

第二編 武器取引及製造問題

目次

第二編 武器取引及製造問題	二一五頁
第一章 米覺書	二一五
第二章 主要武器生產國間會合	二一六
第三章 武器製造分科會	二一六
第四章 武器取引及製造委員會	二一八
第五章 報告書及條文案ノ要旨	二二〇
第一項 報告書	二二〇
第二項 條文案	二二一

第二編 武器取引及製造問題

第一章 米 覺 書

一、武器製造及取引委員會ニ對シテ直ニ研究ヲ再開シ五月二十九日ノ米代表ノ宣言ノ趣旨ヲ酌ミテ其ノ勸告スル解決方法ニ關シ成ルヘク速ニ報告ヲ一般委員會ニ提出センコトヲ要請スル旨」ノ六月八日一般委員會ノ決議ニ從ヒ武器製造及取引委員會ハ武器製造取引問題ノ研究ヲ再開スルコトトナリタル處六月十五日米代表ハ前記決議ニ謂フ五月二十九日ノ米宣言ノ趣旨ヲ敷衍セル意見ヲ覺書トシテ提出シタリ

二、前記米覺書ノ要旨左ノ如シ

イ、武器ノ製造及取引ニ關シ政府ノ負フヘキ責任ヲ條約ニ明定ス

ロ、條約ニ定ムル質的及量的制限ヲ武器ノ製造及輸出ノ制限及監督手段ノ基礎トス

ハ、武器ノ製造及取引ハ左記ニ依ル國家の監督ニ付ス

1. 製造ニ關スル一般許可

2. 輸出ニ關スル特別査照

3. 公表（公表事項ヲ明示ス）

ニ、常設軍縮委員會ノ如キ國際機關ヲシテ條約諸規定ノ實施ヲ調整セシム、調整手段ハ左記手段ニ依ル

1. 公表ニ依リ供給セラルル資料ノ研究

2. 右資料ノ條約所定ノ質的及量的制限トノ比較

3. 恒久且自動的視察ノ實施

ホ、條約ニ依リ軍備ノ擴張ヲ認メラレタル國ハ所定ノ段階ニ從ヒ之ヲナス
ヘ、武器ノ代換計畫ハ特定期間ニ付段階のニ之ヲナシ且監督機關ニ豫告ス
ト、武器類別ノ再檢討

第二章 主要武器生産國間會合

一、前記米覺書ニ關シテハ六月十九日主要武器生産國代表間ノ會合ヲ催シ意見ノ交換ヲ試ミタリ同會合ニハ我方ノ外英、米、佛、白、西、「チッコ」、蘇各代表參加シ米代表ヨリ自國提案ノ趣旨ニ付説明ヲ加ヘ主トシテ英、佛側ヨリ意見ノ開示アリ各國代表何レモ大體ニ於テ米覺書ノ簡單明瞭ニシテ實際のナルヲ認メ之ニ賛意ヲ表シタリ右會合ノ結果武器製造及取引問題報告者「コマルニスキ」ニ於テ米覺書ノ趣旨ニ依リ條文案ヲ作成シ二十二日及二十六日ノ兩回ニ互リ主要武器生産國代表間ノ會合ニ於テ之ヲ逐條審査シテ一應條文ヲ確定シ武器製造分科會ニ對シ討議基礎案トシテ提出シタリ
二、我方ハ六月十九日ノ會合ニ於テ帝國政府ハ武器取引及製造問題ニ關スル從來ノ態度ヲ今尙維持スルモノナルコト及武器取引及製造委員會ノ審議ノ結果ハ之ヲ本國政府ニ傳達スヘキ旨ヲ明カニシ右ノ趣旨ハ後述ノ通委員會報告書ニ之ヲ掲載セシメタリ

第三章 武器製造分科會

一、武器製造分科會ハ二十七日ノ會合ニ於テ前記條文案ヲ審査シ案文ニ多少ノ修正ヲ加ヘタル後之ヲ採擇シ二十九日ノ會合ニ於テ右條文案ニ添附セラルヘキ報告書案ヲ採擇シ右兩案ヲ武器取引及製造委員會ニ提出シタリ
武器製造分科會ニハ我方ノ外英、米、佛、丁、西、墨、波蘭、瑞西、土、「ヴェネズエラ」各代表參加シタリ
二、波蘭代表ハ二十七日ノ會合ニ於テ「ダンチツヒ」自由市ニ關シ武器ノ製造ハ同市ニ於テ自由市憲法第五條ニ依リ禁止

セラレ居ルモ武器ノ取引ニ付テハ疑ノ存スル餘地アリ同市ハ波蘭ノ關稅領域ニ包含セラル、ヲ以テ波蘭ハ前記條文案ヲ受諾スルニ當リ波蘭ト自由市トノ間ノ直接協定ニ依リ右受諾ノ自由市ニ關スル法律の結果ヲ規律スルノ權利ヲ留保スル旨ヲ聲明シ右聲明ハ委員會報告書ニ掲載セラル、コト、ナレリ

三、佛代表ハ前述主要武器生産國代表間ノ會合ニ於テ武器製造ノ監督ト國防費ノ監督ト相互連絡セシムルノ有益ナルコトヲ指摘シ制限又ハ公表ノ目的トナレル武器ノ類別毎ニ（イ）民營及會計上獨立セル國營武器製造所ヨリノ武器ノ購入又ハ會計上獨立セル國營武器製造所ニ於ケル製造ノ爲計上セラル、金額（ロ）右購入又ハ製造ノ爲ニ支拂ハレタル金額ヲ公表スルコト有益ナルヘク又武器製造所ニ對スル國家補助金ニ付調査スルコト亦有益ナルヘシト思考スル旨ヲ主張シ前述報告書案ハ右佛代表ノ意見ヲ其ノ代表部ノ意見トシテ掲ケ本問題ヲ研究ノ爲國防費專門分科會ニ廻付スヘキ旨ヲ記載シタルカ二十九日ノ會合ニ於テ會議事務局側ヨリ國防費專門分科會カ既ニ條約案第三十三條ニ關シ陸海軍器材ノ種類別ニ要シタル經費年額ノ公表ハ不可能ナリトノ結論ニ到達シ居レルコトヲ指摘シ武器取引及製造委員會ニ於テ國防費專門分科會ニ對シ何等カ新ニ研究ノ指針ヲ與フルニ非サレハ同分科會ハ研究ヲ再開スル能ハサルヘシトノ注意アリ之ニ對シ佛代表ハ新ニ武器問題ニ關シ條文案ノ作成ヲ見タル以上同案文ノ趣旨ニ依リ本問題ヲ研究スルノ餘地アルヘシト應酬シ結局前述報告書案ヲ佛代表説明ノ趣意ニ依リ修正スルコトニ落着セリ

四、武器類別ノ再檢討ニ付テハ主要武器生産國代表間ノ會合ニ於テ英代表ヨリ本件審査ハ之ヲ再開スルモ有益ナル結果ニ到達スルコト困難ナリト思考スルモ他ノ諸國カ之ヲ希望スルニ於テハ敢テ之カ再開ニ反對セストノ意見ノ開示アリ報告者「コマルニスキ」ハ現在ノ處本件審査ノ再開ノ時機ニ非サルヲ認ムルモ本件再開方ニ關スル武器類別專門分科會ニ對スル委任ニ付主義上ノ決定ヲナサンコトヲ希望シ結局條文案ニ添附ノ如キ委任決議ヲ作成スルニ至リタリ

尙佛代表ハ本問題ニ關係シ武器類別專門分科會ニ對スル佛提案ニ言及シ同提案ハ千九百二十九年特別分科會ノ作成セル類別ニ修正ヲ加ヘントスルモノニシテ其ノ精神ニ於テ米覺書ト比較の容易ニ調和シ得ヘキモノナリ佛提案ノ基調ハ一方

武器ノ現代軍備ニ對スル重要性ノ見地ヨリ見テ又他方軍縮條約實施ノ結果武器ニ加ヘラル、監督ノ實行性ノ見地ヨリ見テ當該武器ノ有スル利害關係ノ輕重ニ從ヒ類別ヲ作成セントスルニ在リタルコトヲ指摘シ武器類別專門分科會カ米覺書ト同時ニ佛提案ノ研究ヲナサンコトヲ希望シタルカ右佛代表ノ希望ハ結局委員會報告書案ニ掲載セラル、コト、ナレリ五、瑞西代表ハ條文案D條ノ公表事項中註文ノ公表ニ關シ締約國政府カ常設軍縮委員會ニ送付スヘキ註文ノ「リスト」中ニ註文ヲ受ケタル製造業者ノ氏名ヲモ掲載スヘキモノナリトセハ右製造業者間ニ註文ヲ取ランカ爲ノ無用ノ競争ヲ惹起スルノ結果トナルヘシトノ意見ノ開陳アリ報告者「コマルニスキー」ヨリ現在ノ處委員會ハ原則ノ審議ヲナシ居リ斯ル細目ノ議論ハ之ヲ他ノ機會ニ譲ルノ外ナカルヘキ旨ヲ答ヘタルカ委員會報告書案ニハ此ノ點ニ關シ委員會ハ條文案ノ或種規定ノ通商ニ對シ及ホスコトアルヘキ影響如何ニ付審議スルノ必要ヲ認メサリシモ本問題ノ重要ニシテ看過スヘカラサルコト指摘セラレタル旨ヲ記載スルコト、ナレリ

尙條文案D條ノ公表事項ニ關シテハ同條ノ列舉ハ例示ニシテ制限的ノモノニ非ストノ見解ニ各國代表贊同シ之亦委員會報告書案ニ掲載スルコト、ナレリ

第四章 武器取引及製造委員會

一、武器取引及製造委員會ハ七月二日ノ會合ニ於テ武器製造分科會ヨリ提出セラレタル條文案及報告書案ヲ審查シ報告書案ニ輕微ノ修正ヲ加ヘタルノミニテ右兩案ヲ採擇シタリ

委員會參加國ハ本邦（西村書記官及柳澤少佐ヲ委員トス）ノ外左ノ通

「アフガニスタン」、白、英、加、支、丁、西、米、佛、墨、波斯、波蘭、瑞典、瑞西、「チエコ」、土、南阿、蘇、「ツエネズエラ」

二、前記會合ニ於テ先ツ議長「コマルニスキー」ハ條文案ノ成立ノ經過及同案カ會議ニ於テ尙修正改善ヲ加ヘラルヘキ未

確定案文ナルコトヲ説明シタル後同案ノ根本原則ハ左記ノ五點ニ存スル旨ヲ述ヘタリ

イ、武器民營廢止問題ハ將來ノ問題トシテ之ヲ措キ軍縮當面ノ解決策トシテ武器民營ニ付嚴格ナル監督ヲ行フ

ロ、國營ト民營トノ待遇ヲ原則トシテ同等トス

ハ、全般の國家監督及或種形式ノ下ニ於ケル國際監督ノ制度ヲ採用ス

ニ、許可狀ハ國家的ノモノトシ右許可狀ニ掲クヘキ諸條件ヲ明定ス

ホ、許可狀ニ付テノミナラス輸入、輸出及製造ニ付テモ全般の公表制度ヲ採用ス

三、佛代表ハ本條文案ハ武器取引及製造問題ニ關スル劃期的文書ナリトテ同案ノ意義ノ重要ナルヲ說キ同案ノ特色ハ武器生産國ト非生産國及國營ト民營ト同一地位ニ置キタル點ニ存ス公表制度ニ依リ武器ノ取引及製造ニ國際的監督ヲ行使セントスル思想モ亦重要ナルモノナリトテ國際監督カ將來漸次擴張セラレ有效ニ作用スルニ至ランコトヲ希望シタル後尤モ本條文案ニ依リ問題ノ全部カ解決セラレタルニ非スシテ武器ノ製造及取引ノ特殊條件ニ適合セル國際監督ノ適用方法ノ研究、製造上ノ秘密保持、會計上ノ秘密保持及國防上ノ秘密保持ト監督トノ關係、國防費ノ監督ト武器製造ノ監督トノ調整、武器類別ノ再審査等今後尙研究スヘキ問題多クアルモ一般條約ニ挿入セラルヘキ條文案ヲ得タルコトハ軍縮會議開會以來前例ナキトコナリト述ヘタリ

四、「ツエネズエラ」代表ハ條文案D條第二項ニ規定スル輸出許可狀ニ關シ本件許可狀ハ武器仕向國政府ノ發給スル輸入許可狀ノ提出アル場合ニノミ發給スルコト、爲サンコトヲ希望セリ

五、英代表ハ武器問題報告者「コマルニスキー」ノ努力及米代表ノ提案ニ對シ謝意ヲ表彰シタル後英國政府ハ數年來武器ノ製造及輸出ニ對シ最モ嚴重ナル監督ヲ實施シ居リ從テ英國政府ハ本條文案ヲ興味ヲ以テ研究スヘキコトヲ確信スル旨ヲ述ヘタリ

六、米代表ハ本條文案ハ簡單明瞭ニシテ大衆ト雖モ之カ實施ノ重要ナルヲ諒解シ得ルト共ニ同案ニ依リ各國ハ隣國ニ於ケ

ル武器製造ニ付明確ナル情報ヲ有スルコト、爲リ仍テ多數ノ諸國カ軍縮ノ爲必要ナリトスル安全感ヲ生セシムルニ效果アルヘシ米代表ハ佛代表所言ノ如ク監督ヲ嚴ニシ又監督ノ各種分子ヲ調整スルノ重要ナルヲ認ムルモ之カ爲本條文案ノ簡明性及嚴肅性ヲ毀損スルコトナカランコトヲ希望スト述ヘタリ

七、波蘭代表ハ武器取引及製造問題ニ關シ同國カ終始急進的態度ヲ採リ來ル次第ヲ述ヘ同國ハ本問題解決ニハ(イ)各國ハ自國領域内ニ行ハルル取引及製造ニ付責任ヲ負フヘシ(ロ)國營及民營ノ取引及製造ニ對シ國際監督ヲ行フヘシトノ二原則ヲ認ムルコトヲ必要ト思考シ來ルカ本條文案ハ原則トシテ此ノ兩者ヲ認メ居リ波蘭トシテハ無條件ニ之ヲ支持スルモノナリト述ヘ瑞典、「チエコ」、瑞西、西各代表亦同様ノ趣旨ニ依リ條文案ニ贊意ヲ表シタリ

八、波斯代表ハ報告書案第六節ニ「條文案ノ提議スル制度ハ武器及戰用器材ノ製造並ニ國際取引ニ適用アル諸種ノ原則ヲ包含スレトモ委員會カ特ニ研究セルハ製造ノ問題ナリ蓋シ取引問題ニ付テハ數多ノ國カ批准シ且取引分科會ニ於テ既ニ軍縮條約トノ調整ヲ研究シタル千九百二十五年ノ條約アレハナリ」ト在リシニ對シ千九百二十五年ノ條約ノ修正ノ必要ハ既ニ武器取引及製造委員會報告書(Conf. D. 145)ノ認ムルコロニシテ且波斯ハ同條約ヲ承認シ居ラストノ理由ヲ以テ右報告書案ノ修正方ヲ要求シ土代表之ヲ支持セルカ結局瑞西代表ノ提議ニテ前記報告書案ヲ「……蓋シ取引問題ニ付テハ千九百二十五年ノ條約ノ軍縮條約トノ調整ハ既ニ取引分科會ニ於テ研究セラレタレハナリ」ト修正スルコトニ落着シタリ

第五章 報告書及條文案ノ要旨

第一項 報告書

七月二日武器取引及製造委員會カ採擇シテ一般委員會ニ提出シタル報告書(Conf. D./C.G. 171)ハ第一節及第二節ニ於テ條文案ノ成立經過ヲ、第三節ニ於テ七月二日ノ武器取引及製造委員會參加國名ヲ、第四節ニ於テ本邦ノ聲明(第二章ニ參照)

ヲ、第五節ニ於テ波蘭ノ聲明(第三章ニ參照)ヲ、第六節ニ於テ委員會ハ主トシテ武器製造問題ヲ研究シタルコト(第四章八參照)ヲ、第七節ニ於テ條文案ハ國營ト民營トノ同等待遇ヲ原則トスルモノナルコトヲ、第八節ニ於テ條文案中ニハ例ヘハB條ノ如ク軍縮條約ノ最終案文ノ作成セラルル場合ニハ同條約ノ他章ニ適用セラルル更ニ一般的ナル規定中ニ包括セラルヘキモノアルヘキコトヲ、第九節ニ於テ委員會ハ確定案文ヲ作成スル任務ヲ有セサルニ依リ前文ヲ如何ニスヘキヤヲ研究セサリシコトヲ、第十節ニ於テ條文案ハ或種原則ノ採用ヲ豫見シ居リ而シテ右原則ノ實施條件ハ今後ニ於ケル專門的研究ノ目的タルヘキコト及委員會ハ或種規定ノ通商ニ對シ及ホスコトアルヘキ影響如何ニ付審議スルノ必要ヲ認メサリシコト(第三章五參照)ヲ、第十一節ニ於テ條文案特ニC條ニ取扱ハルル問題ノ確定の解決ハ器材問題ノ解決ニ俟ツモノナルコトヲ、第十二節ニ於テ條文案D條ノ公表事項ハ例示的ノモノナルコト(第三章五參照)ヲ、第十三節ニ於テ武器類別ノ再檢討ニ關スル佛代表ノ意見(第三章四參照)ヲ、第十四節ニ於テ武器製造ノ監督ト國防費ノ監督トノ相互連絡ニ關スル佛代表ノ意見(第三章三參照)ヲ掲ケ附屬書トシテ六月十五日ノ米疊書ヲ添附シタリ

第二項 條文案

條文案(Conf. D./C.G. 171)ノ要旨左ノ如シ

A 條

武器及戰用器材ノ製造及取引ハ國際公序ニ關スル事項ナルニ依リ締約國ハ其ノ管轄ノ下ニ在ル地域ニ於テ此等ノ事項ニ付一切ノ責任ヲ負擔ス

B 條

締約國ハ武器及戰用器材ノ製造及取引ノ監視及監督ヲ最嚴格ニ確保スル爲必要ナル法律規定ヲ制定スルコトヲ約ス

C 條

締約國ハ武器及戰用器材ニシテ其ノ使用若ハ製造カ禁止セラルルモノ又ハ本條約ニ於テ定メラルル質的制限ヲ超過スルモ

ノ製造及取引ヲ其ノ管轄ノ下ニ在ル地域ニ於テ禁止スルコトヲ約ス
締約國ハ又本條約ニ於テ定メラルル量の制限ヲ超ユル武器及戰用器材ヲ自己ノ使用ノ爲製造セサルコト、製造セシメサルコト又ハ輸入セサルコトヲ約ス

D 條

締約國ハ其ノ管轄ノ下ニアル地域ニ於テ製造業者カ政府ニ依リ下付セラルル製造許可狀ヲ得ルニ非サレハ武器及戰用器材ノ製造ヲ許ササルコトヲ約ス
締約國ハ又其ノ管轄ノ下ニ在ル地域ニ於テ政府ニ依リ下付セラルル輸出許可狀又ハ輸入許可狀ナクシテ武器及戰用器材ヲ輸出又ハ輸入スルコトヲ許ササルコトヲ約ス

E 條

製造許可狀ハ、、、年ヲ超エサル期間有效タルヘク且政府ノ決定ニ從ヒ更新スルコトヲ得ヘシ右許可狀ハ特ニ左記ヲ掲クヘシ

一 製造業者ノ氏名及住所又ハ會社ノ名稱所在地及主タル製造所

二 製造ヲ許可セラレタル戰用器材(武器ノ類別、武器又ハ部分品)ノ明細書

尙右許可狀ハ製造業者ノ受クル一切ノ註文カ直ニ右許可狀ヲ下付シタル政府ニ通知セラルヘキコトヲ定ムヘシ

F 條

締約國ハ常設軍縮委員會ニ對シ他ノ情報ノ外左記ヲ通告スヘシ

イ、本條約ノ實施ヨリ起算シ、、、、月内ニ國營武器製造所ノ表ニシテ右製造所ニヨリ製造セラルル戰用器材(武器ノ類別、武器、部分品)ノ明細書ヲ附セルモノ及右表又ハ明細書ニ變更アル毎ニ一切ノ變更

ロ、製造許可狀ノ下付又ハ更新ノ後、、、、日内ニ下付又ハ更新セラレタル一切ノ右製造許可狀ノ寫

ハ、許可狀ヲ所有スル製造所及國營製造所ニ依ル註文ノ受領後、、、、日内ニ出所ノ如何ヲ問ハス右註文ノ表

ニ、輸入許可狀又ハ輸出許可狀ニ掲ケラルル武器及戰用器材ノ當該領域出入ノ豫定日ノ少クトモ、、、、日前一切ノ右輸入許可狀又ハ輸出許可狀ノ寫

ホ、、、、年ノ滿了後、、、、月内ニ(右、、、、年度内ニ)爲サレタル一切ノ製造輸入及輸出ノ一覽表

常設軍縮委員會ハ前諸項ニ從ヒ供給セラレタル一切ノ情報ヲ(最短期間内ニ又ハ成ルヘク短キ期間ヲ置キテ)發表スヘシ

G 條

締約國ハ一切ノ重要ナル代換計畫ヲ段階的ニ遂行スルコトヲ約ス右段階ハ常設軍縮委員會ニ對シ少クトモ一年度分毎ニ豫告セラルヘシ

本條約カ或國ニ對シ軍備ヲ擴張スル權利ヲ認ムル場合ニハ其ノ結果タルヘキ武器及戰用器材ノ製造又ハ輸入ハ段階的ニ且(決定セラルヘキ)一定ノ基準ニ從ヒテノミ遂行スルコトヲ得ヘシ

H 條

締約國ハ武器及戰用器材ノ製造、輸入及輸出力前諸條ニ包含セラルル規定ニ準據セルヤ否ヤヲ審査スルコトヲ目的トスル恒久且自動的監督手段(右手段ノ特別方法ハ之ヲ制定スヘシ)ニ服スルコトヲ約ス

I 條

常設軍縮委員會ハ前諸規定ノ實施ヲ監視スルコトヲ委託セラルヘシ
之カ爲右委員會ハ特ニ左記ヲ行フヘシ

イ、(明定セラルヘキ條件ノ下ニ)規定セラレタル公表ニ依リ供給セラルル資料ノ審査

ロ、恒久且自動的臨檢

武器類別分科會ニ對スル委任

千九百二十九年特別委員會ノ作成シ (A. 30. 1929. IX.) 且武器類別專門分科會ノ修正シタル武器類別 (Conf. D./C.C.F./38 du 5 mai 1933, annexe 5 au document Conf. D. 160.) ハ左記諸項ヲ考慮ニ入レテ之ヲ再審査シ本條約ノ器材ニ關スル規定ト調和セシムヘシ

- 一、監督手段ヲ更ニ容易且有效ナラシムルコトヲ目的トスル類別制度ノ簡易化
- 二、各種監督手段ノ變化ヲ可能ナラシムルコトヲ目的トシテ質的ニ制限セラレタル武器、質的ニ制限セラレサルモ量のニ制限セラレタル武器及何等制限セラレサル武器トヲ區別スル必要
- 三、般空用器材ハ特別類別ニ包含セシムヘシ
- 四、改造用器材、民間用器材等ニ付テモ亦同様タルヘシ

附 錄

會 議 日 誌

- 第一、日附順會議日誌
- 第二、會議別開催日表